

年 組 道徳科学習指導案

月 日() 限 年 組教室 指導者 ○○○○

1 主題名 かけがえのない家族とともに

2 主題設定の理由

(1) 内容項目について

(一段落目)

※どのような内容項目について指導するのかを示す。

本時で取り上げる内容項目は、C(14)家族愛、家庭生活の充実「父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。」である。

(二段落目)

※内容項目のとらえ方を示す。

この内容項目は・・・

と考えている。

(三段落目)

※その学年で、どのように指導するのかを示す。

第○学年では・・・

していきたい。

(2) 生徒の実態について

(一段落目)

※内容項目にかかわる生徒の実態について示す。

本学級の生徒は・・・

である。

(二段落目)

※生徒の実態を踏まえてどのように指導するのか示す。

そこで、

していきたい。

(3) 教材について

(一段落目)

※本時に扱う教材名とその出展について示す。

本時に使用する教材は、「一冊のノート」（○○教育図書「中学生の道徳2」）である。

(二段落目)

※教材の内容(あらすじ)について示す。

主人公の○○は・・・

という内容である。

(三段落目)

※その教材をどのように扱うのか示す。

主人公である○○の・・・

に気づかせたい。

どのような活動を通して何に気づき、どのような心情や態度を育むことをねらうのか示す。

3 ねらい

家族に対してどんな気持ちで接したらよいか考える中で、家族の気持ちを受けとめながら互いに支え合うことの大切さに気づき、家族の一員としての自覚をもって積極的にかかわろうとする態度を養う。

4 展開

○は基本発問 ◎は中心発問

学 習 活 動	主な発問と生徒の反応	指導上の留意点
1 「家族」についての気持ちを出し合い、本時のめあてをつかむ。	○家族についてのアンケートの結果を見て、どんなことを思いましたか。 ・ ・	・ 生徒の学習課題(めあて)を記入する。
家族に対してどんな気持ちで接したらよいか考えよう。		
2 教材「一冊のノート」を読んで主人公の気持ちについて話し合う。	○祖母が伝言を忘れたため、友達との約束を破ってしまったとき、僕はどんな気持ちだったでしょう。 ・ ・ ◎祖母と並んで草取りをしながら、僕はどんなことを思っていたのでしょうか。 <謝 罪> ・ ・ <感 謝> ・ ・ <決 意> ・ ・ ※三つの気持ちのうち、僕が一番強く心に抱いているのはどんな気持ちでしょう。 ・ ・	教材を通して気づかせたい生徒の意識を記入する。
家族の気持ちを受けとめながら、互いに支え合っていくことが大切だな。		
3 これまでの自分を振り返り、家族の一員としての自覚について考える。	○これまで自分には、家族の中で互いに支え合っていくとする気持ちがどれくらいあったか振り返ってみましょう。 ・ ・	終末において想定される生徒の意識を記入する。
4 まとめをする。	○今日の学習で・・・・・・・・ましょ。	家族の一員としての自覚をもって積極的にかかわっていきな。
評価の視点	・話し合い活動などを通して多様な考えを出し合い、家族の気持ちを受けとめながら互いに支え合っていくことの大切さに気付くことができたか。 ・これまでの自分を振り返り、家族の一員としての自覚をもって積極的にかかわろうとする意欲を高めることができたか。	

評価については、多面的・多角的な見方へと発展しているか、自分とのかかわりの中で価値を深めているかなどの視点から記入する。